



2018 年 12 月 21 日 (金) 発行

【主任より】

前号で「昔、埼玉県の難関私立高校の入試に『割りばし問題』という小論文の入試が出題された。その問題は、割りばしと原稿用紙が渡され、『これについてあなたが考えることを自由に記述しなさい』という問題であった。さて、皆さんは、どんな小論文を書くだらうか。また、この問題の出題の意図は何だらうか。」ということを書きました。皆さん、考えてみましたか？例えば、次の A 君、B 君、C 君、D 君のちょっとした小論文を見てどのように感じますか。あなたなら、どの生徒にどのような評価をしますか。

- A 君の小論文：「私は、割り箸はお弁当を食べるときに、いつでもどこでも使えて、その場で捨てることのできる便利な道具であると考えます。」
- B 君の小論文：「私は、割り箸は便利な道具であるが、その背景に森林伐採という問題があり、使用については控えるべきだと考える。」
- C 君の小論文：「私は、割り箸は使わず「マイ箸」を持参するようにしている。日本の割り箸は 98% が中国から輸入されているが、日本の国土面積の 67% が森林であることに對し、中国では国土面積の 20% しか森林がないことを考えると、日本での割り箸の使用が中国の森林に大きな影響を与えているため、国際的な環境問題という視点から割り箸の使用頻度は必要最低限度にとどめておくべきであると考えます。」
- D 君の小論文：「私は、割り箸についての議論は割り箸に使用される木材の種類によると考える。熱帯雨林の破壊につながるような木材選択は非であり、国内の間伐材を用いるなら是である。ただし後者は少数である、というのが実態である。なお、中国の割り箸企業が国内資源の劣化を受けてロシアからの木材輸入を増加させているという報道は注目すべきであり、グローバル社会が叫ばれる中、地球規模で森林伐採などの環境問題を考慮することが今後の私たちの使命である。」

【5 組担任より】

私が 15 年前高校に入学した時、担任の先生に「パンツのゴム紐方式」で頑張ろうと言われた。ゴムを伸ばしてはじめは元に戻ってもゴムが緩むまで伸ばし続ければそれが普通の状態になる。という学習習慣に関する例えだった。当時私は、なぜパンツで例える必要があったのかはよくわからなかった。というよりその先生はあまり好きではなかった。

でも教師になった今、その先生の話を書いてみる。自分も少しは成長しているかもしれない。パンツで例える意味は今でもわかりかねるが…

【今後の行事】

- | | |
|-------------|--------------------|
| 1 月 8 日 (火) | 始業式、大掃除、LHR |
| 9 日 (水) | 課題考査 (課題考査後から通常授業) |
| 12 日 (土) | 進研模試 |
| 17 日 (木) | 阪神淡路大震災追悼行事 |
| 21 日 (月) | かるた大会 (体育館にて) |